

東京2025デフリンピック気運醸成の主な取組について

- ▶ 東京2025デフリンピックに向けて、大会を知ってもらうとともに、その魅力を伝えていくため様々な機会を捉えて、大会に向けた気運を高める取組を実施
- ▶ 大会を契機に、障害のあるなしに関わらず、互いの違いを認め、誰もが尊重し合う共生社会づくりに貢献

切れ目のない大会気運の醸成

- 2024年5月、大会開催555日前に「音のない世界と”つながる”」をテーマにトークショーを開催
- 6月、都のスポーツ応援大使「ゆりーと」を東京2025デフリンピック公式マスコットに任命
自治体等のキャラクターによる東京2025デフリンピック応援隊を結成（41キャラクター ※1/24時点）
- 7月、大会開催500日前を機に、都内区市町村の全小学校1382校の4～6年生約34万人に「学ぼう！デフリンピック」の冊子を配布。
冊子を活用し、手話やデフリンピックに関する特別授業を実施
- 9～10月、全国小中高生対象にメダルデザインのオンライン投票を実施（80,543人が投票）
- 10月、ボランティア募集概要発表（応募は11月開始）
- 11月、大会1年前イベントにおいて、デフアスリートや応援アンバサダーを招いて、セレモニーや手話体験などを実施。
全国小中高生の投票で決定したメダルデザインや新しい応援スタイル「サインエール」を発表



様々なメディアを活用し大会をPR

- テレビや新聞などのマスメディアに気運醸成イベント等の情報を提供し情報発信してもらうことにより、多くの人たちが広く大会を目に触れる機会を創出
- SNSでの応援メッセージの一斉配信をはじめ、検索サイト等へのバナー広告の掲出、電車内での動画放映等を実施
- 広報東京都11月号で大会の特集を組むとともに、区市町村と連携し、25以上の自治体広報誌においても大会概要を掲載



都民に身近な場所で地道な広報活動

- 年間を通じ、都内区市町村等が主催するイベントにPRブースを出展（90回 ※12月末時点）
- デフアスリート、応援アンバサダーをメインにしたポスター・チラシを新たに作成。都内区市町村や関係団体、気運醸成イベント等を通じて広く配布

